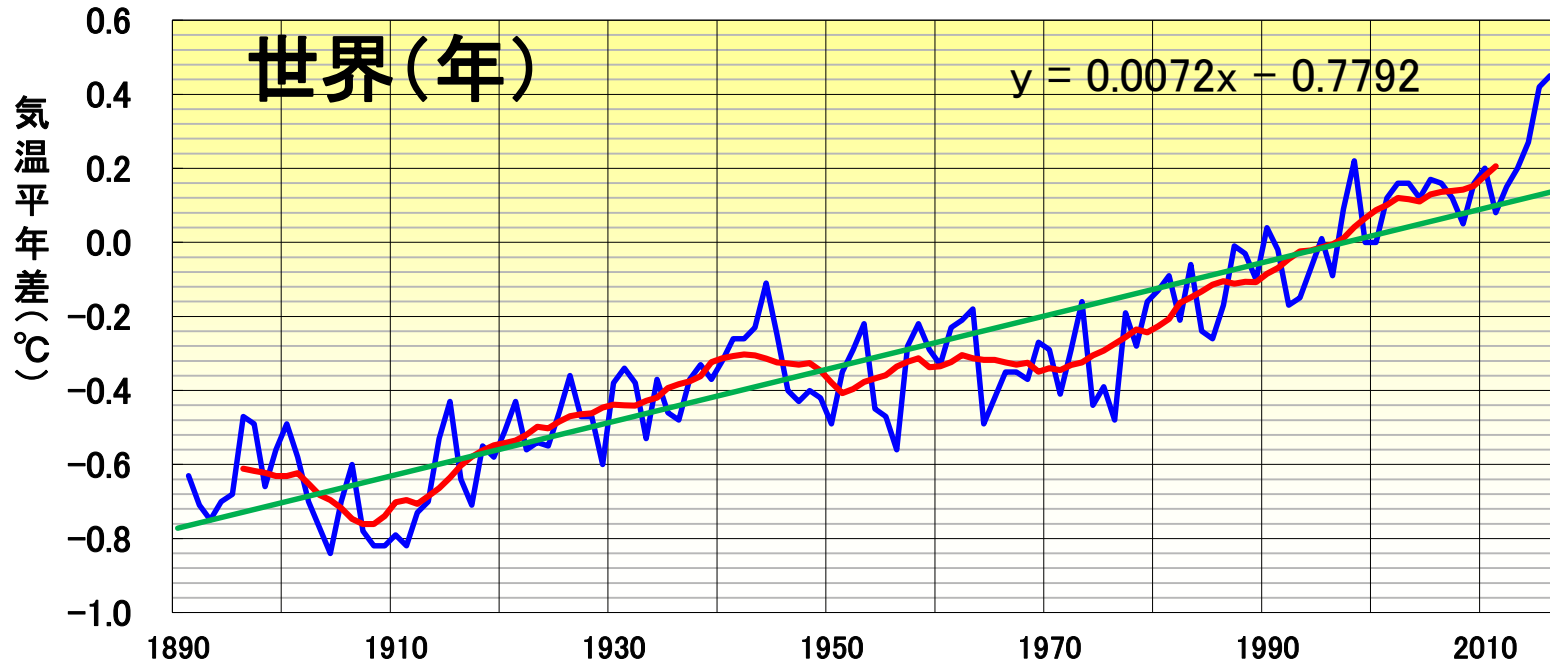


地球規模の気候の変化

世界の平均気温の変化傾向



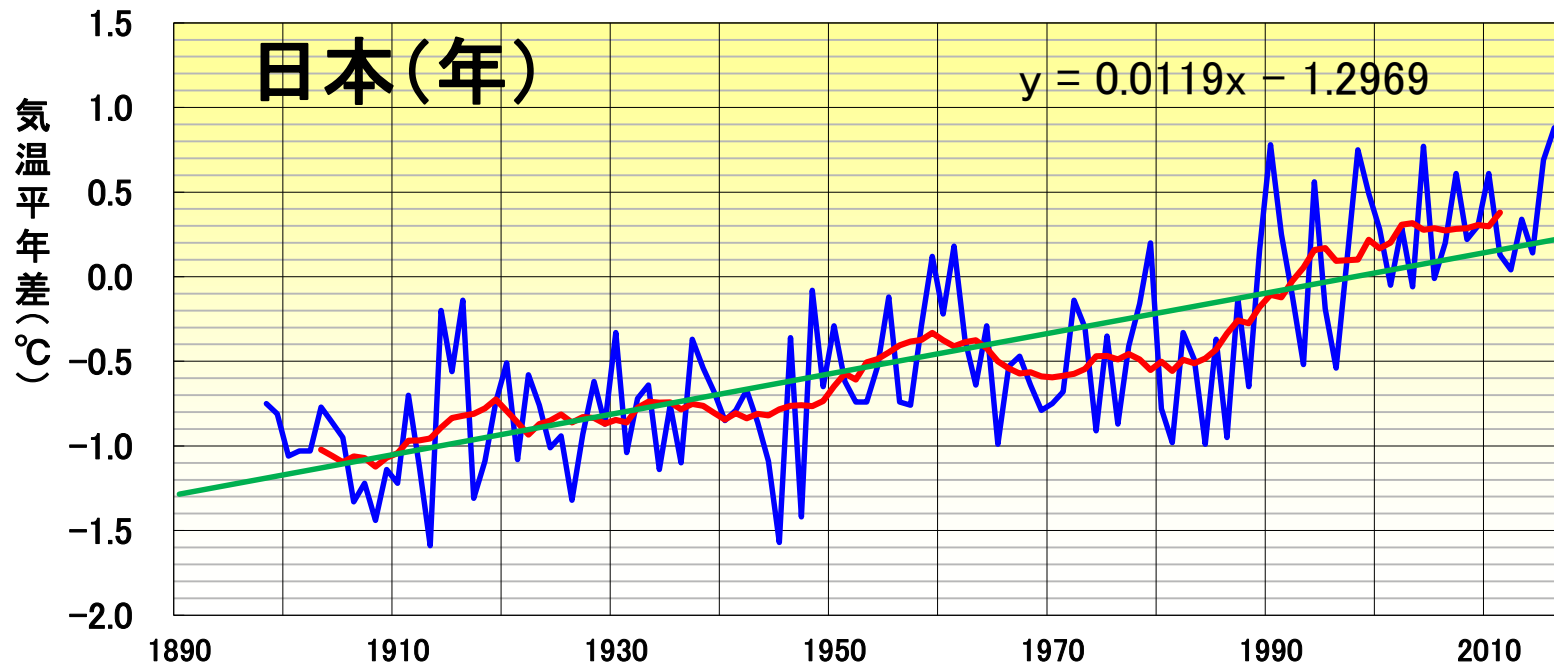
- ・世界の年平均気温は、長期的には100年あたり約0.72°Cの割合で上昇
- ・特に1990年代半ば以降、高温となる年が多くなっている
- ・南半球より北半球の高温傾向が顕著
- ・北半球の中でも、特に中緯度地域の高温傾向が顕著

青線： 各年の平均気温の基準値からの偏差

赤線： 偏差の移動平均

緑線： 長期的な変化傾向。基準値は1981～2010年の30年平均値

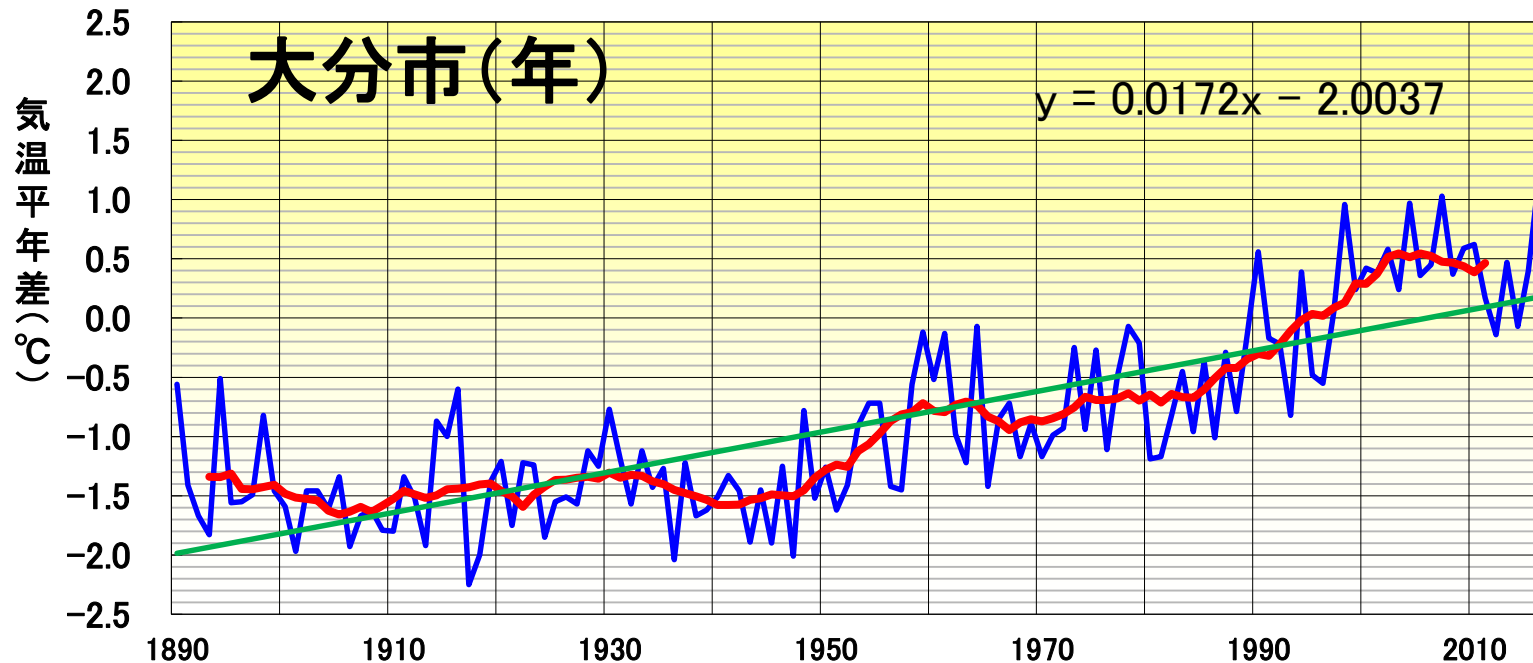
日本の平均気温の変化傾向



- ・日本の年平均気温は、長期的には100年あたり約1.19°Cの割合で上昇
- ・特に1990年代以降、高温となる年が頻出している

青線： 各年の平均気温の基準値からの偏差
赤線： 偏差の移動平均
緑線： 長期的な変化傾向。基準値は1981～2010年の30年平均値

大分市の平均気温の変化傾向

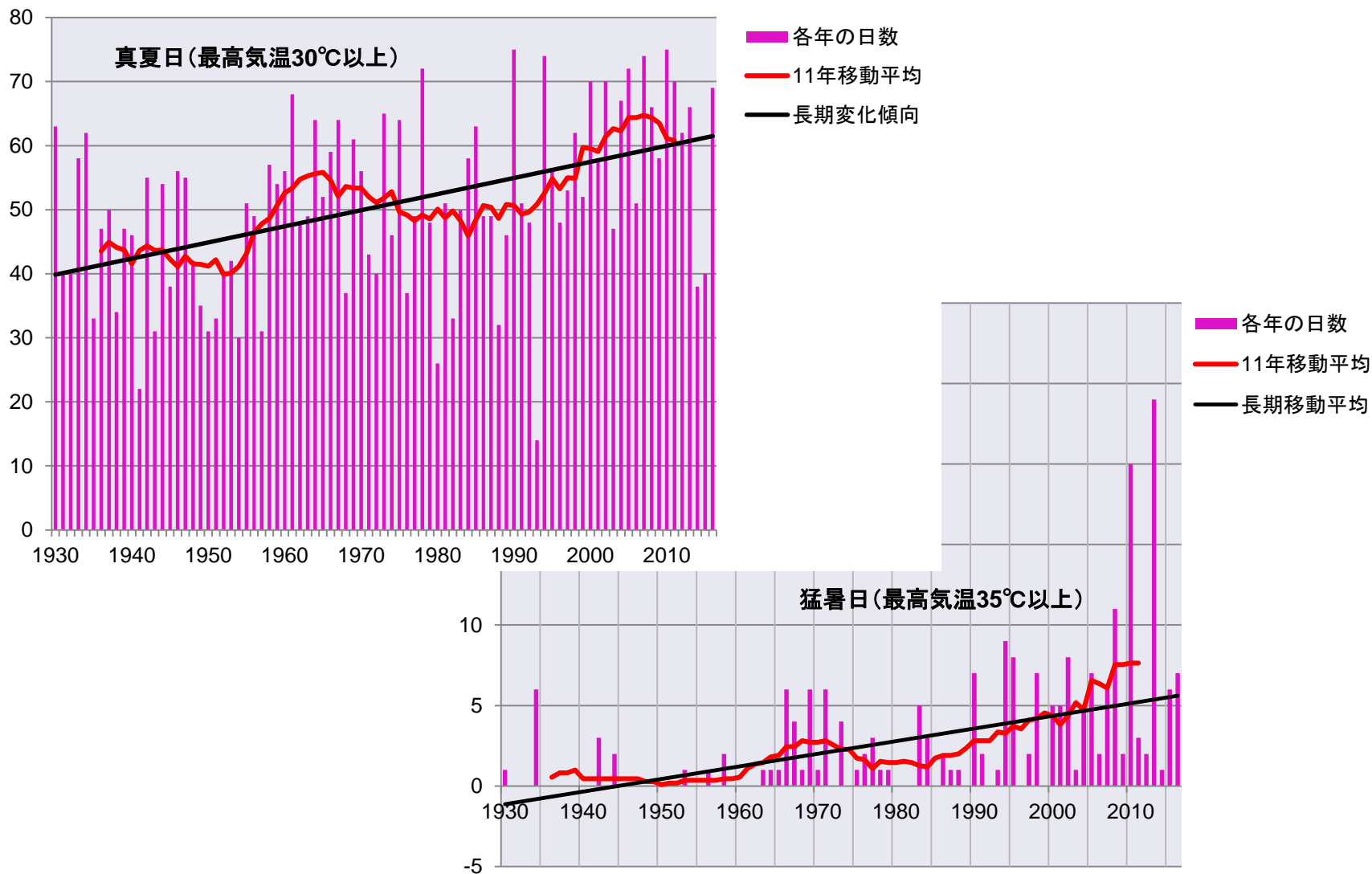


- ・大分市の年平均気温は、長期的には100年あたり約1.72°Cの割合で上昇
- ・特に1990年代以降、高温となる年が頻出している

青線： 各年の平均気温の基準値からの偏差
 赤線： 偏差の移動平均
 緑線： 長期的な変化傾向。基準値は1981～2010年の30年平均値

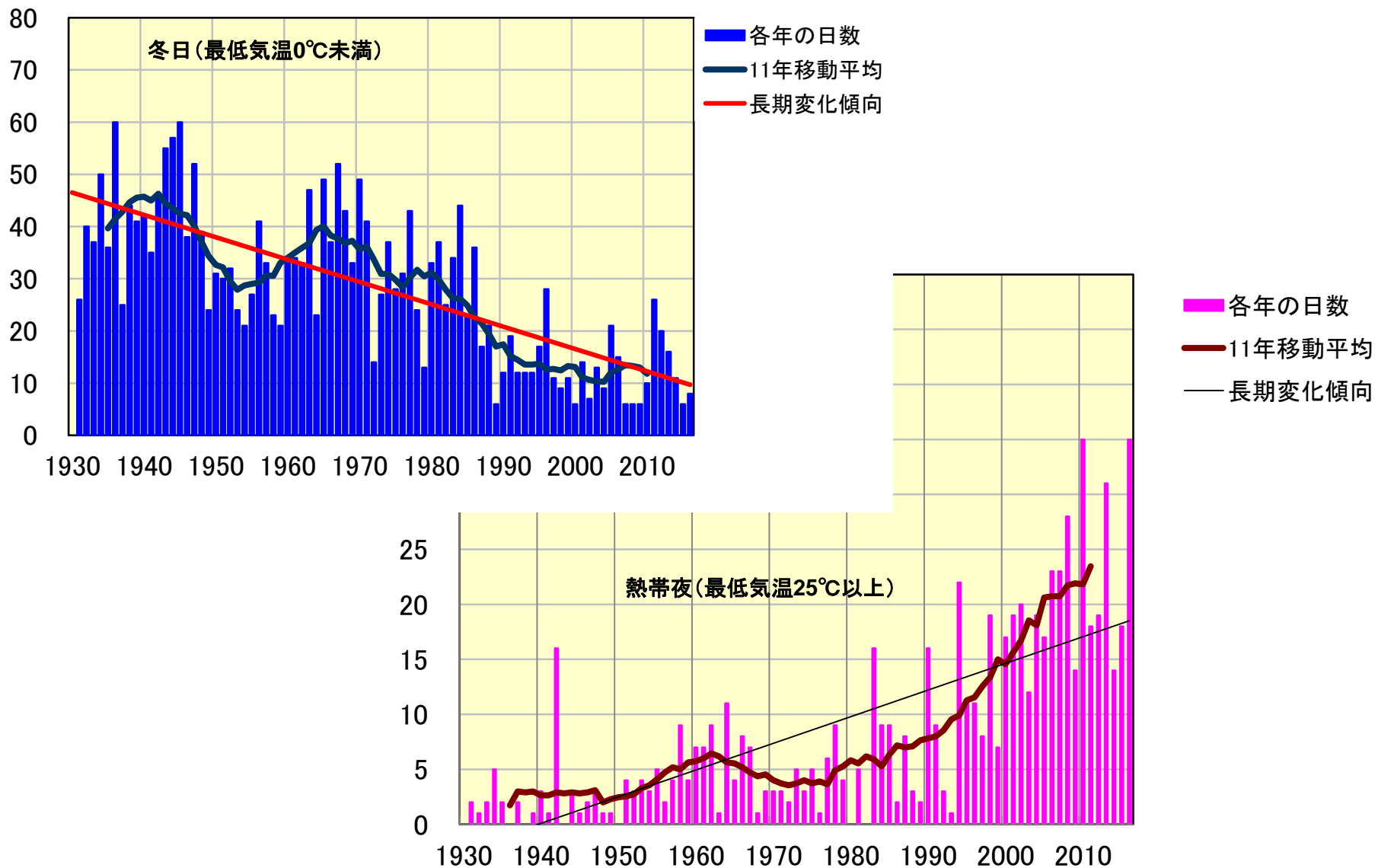
大分市の 真夏日、猛暑日 の日数変化

(最高気温30℃以上、最高気温35℃以上)



大分市の 冬日、熱帯夜 の日数変化

(最低気温0°C未満、最低気温25°C以上)



九州・山口県の長期変化傾向

真夏日 猛暑日 熱帯夜 の日数は増え、**冬日** の日数は減っている

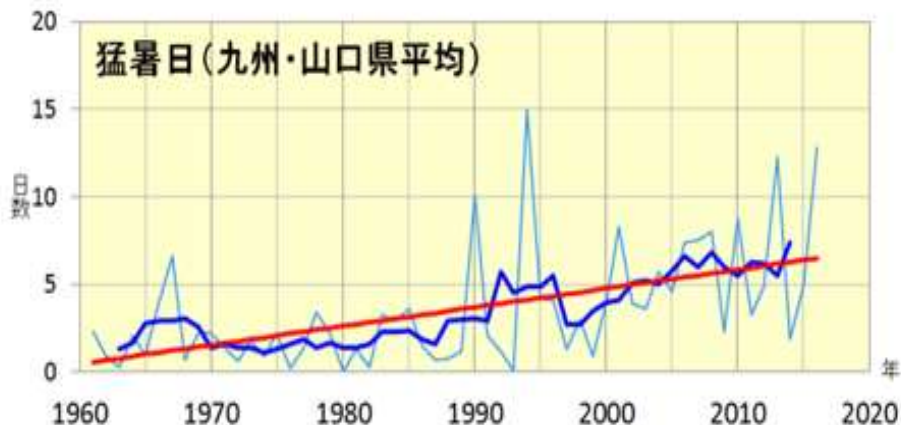
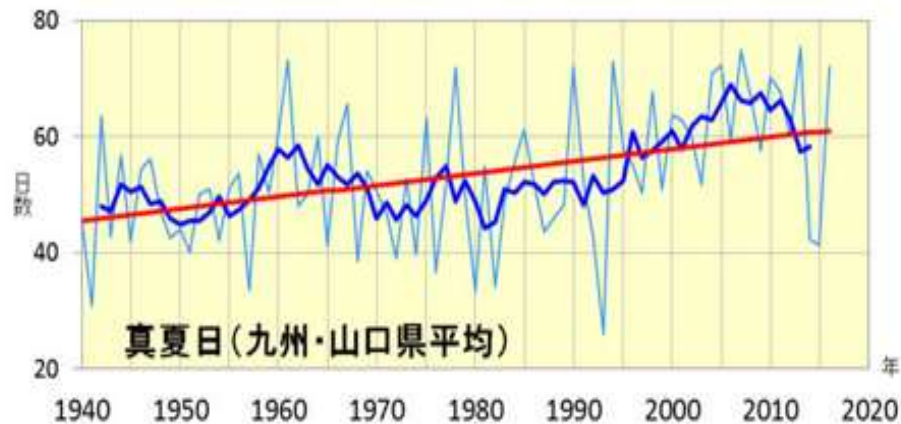


図 2.2.9 (上) 真夏日及び(下) 猛暑日の年間日数経年変化

統計期間：真夏日(1940～2016年)、猛暑日(1961～2016年)。九州・山口県平均は、真夏日は下関、福岡、大分、熊本、名瀬、飯塚、平戸、阿久根、枕崎の9地点平均値、猛暑日は下関、福岡、大分、長崎、熊本、名瀬、飯塚、佐世保、日田、人吉、牛深、都城、阿久根、枕崎の14地点平均値。青の細線：年々の値、青の太線：5年移動平均、赤の直線：有意な長期変化傾向。

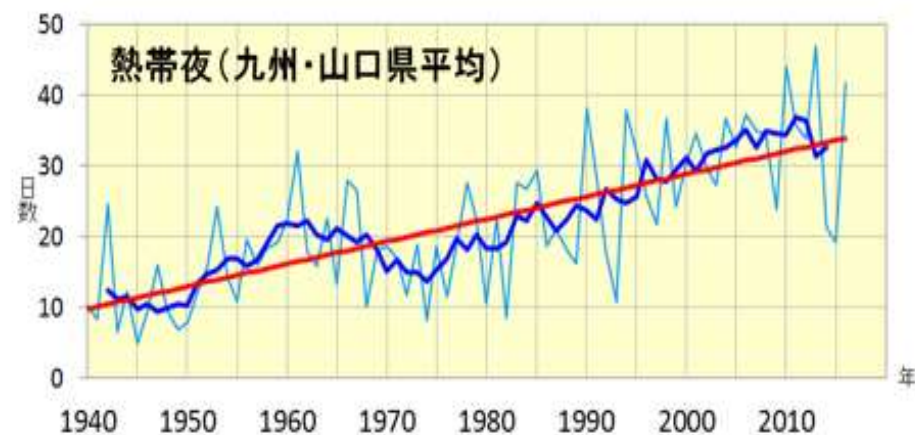


図 2.2.13 熱帯夜(上)及び冬日(下)の年間日数経年変化

統計期間：1940～2016年。九州・山口県平均は、熱帯夜は下関、福岡、大分、熊本、名瀬、飯塚、平戸、阿久根、枕崎の9地点平均値、冬日は下関、福岡、大分、熊本、飯塚、平戸、阿久根、枕崎の8地点平均値。青の細線：年々の値、青の太線：5年移動平均、赤の直線：有意な長期変化傾向。

本日お話した内容は以下で公表しています。

- 地球温暖化について
http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/chishiki_ondanka/
- 九州・山口県の気候変動監視レポート 2016
<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/kaiyo/chikyu/repo2016/repo2016.html>
- 地球温暖化予測情報 第9巻
<http://www.data.jma.go.jp/cpdinfo/GWP/index.html>
- 気象庁HP(警報・注意報 危険度分布等 各種気象情報)
<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>
- 地球温暖化 ～科学と技術の現場から～(国交省政策チャンネル)
http://www.mlit.go.jp/page/kanbo01_hy_005543.html